

プラスチック製容器包装の環境配慮施策

施策項目		定義
A：リデュース ＜材料投入量削減、他素材への代替によるプラスチック使用量削減＞	A1：サイズ変更	容器包装のサイズ（幅、高さなど）を小さくする
	A2：薄肉化	容器包装の厚みを薄くする
	A3：形状・形態変更	形状・形態を変更する* ¹
	A4：パーツの削除	容器包装を構成、あるいは附属のパーツ* ² を削除する
	A5：材質変更	材質変更、あるいは複合材質の構成を変更する
	A6：素材変更	他素材と複合化、構成を変更、他素材へ変更する
B：リユース ＜リユース化＞	回収・再充填・販売システム化	再使用可能な専用容器に充填した製品を、使用後に回収・再充填・再使用する販売システムを導入する
C：リサイクル ＜リサイクル適性の向上＞	C1：単一素材化	容器包装、あるいは附属のパーツを単一素材化する
	C2：分別容易性	分離し易い、あるいは解体し易い等の構造にして、分別排出しやすくする
	C3：減容化	つぶしやすい、あるいは小さくしやすい等の構造にして、分別排出しやすくする
D：Renewable ＜再生可能資源の選択＞	D1：再生プラスチックの利用	再生プラスチックを原材料として利用し、従来品、同等品に比べてバージン材の使用量を削減する
	D2：バイオマスプラスチックの利用	バイオマスプラスチックを原材料として利用し、従来品、同等品に比べて化石資源由来のプラスチック量を削減する
	D3：生分解性プラスチックの利用	生分解性機能を活用した容器包装（コンポスト用等）として利用する
	D4：認証材の利用	第三者認証された材料を利用する
E：その他環境負荷低減		ライフサイクルの様々な段階での環境負荷低減* ³

* 1：詰め替え・付け替え用製品化等は当項目に該当

* 2：過去の事例では、トレイ、アイキャッチシール、スプーン、ストロー等

* 3：過去の事例では、省エネルギー化、再生可能エネルギー使用、水使用量削減、生産工程効率化、輸送効率向上、食品ロス低減、バイオマスインク使用、バイオマスマーク商品認定など